



はやし幹 ともひと県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

学校での新型コロナウイルス対策

社会性醸成の妨げ危惧

青少年の健全な育成に力を注いでいる林幹人県議(成田市選出、4期)は6月定例県議会の文教常任委員会で発言を求め、学校の新型コロナウイルス感染症対策について質問しました。「学校再開後の授業は個別の学習を中心とする」との県教育長の説明に対し、林県議は仲間や先生たちとの交流が妨げられるのではないか懸念、児童生徒の社会性醸成を念頭に置いた対策を求めました。文教常任委員会での答弁を紹介します。

林委員 新型コロナウイルス感染症の対応について、うかがう。教育長の諸般の報告では、コロナ対策として毎朝の検温や健康観察を徹底し、石鹼による手洗いや咳エチケット、学校施設や用具の消毒等を行っているということだた。また、給食の際には向かい合わせで座らないなど、3密を避ける対応を取つてゐることだ。

報告の中で、教育長が「授業において個別の学習を中心とした家庭学習を児童生徒は余儀なくされていましたので、家庭学習を児童生徒はこれまでの学習を進めていくのも大事な側面があります。しかし、社会性の獲得という点についてどう考えているのか。勉強だけではない大きな意味での学習が果たして担保できるのかと思うが、その点についてどう考えているのか。

先ほどから申し上げているように、学校とは学習を進めしていくのも大事な側面ですが、社会性の獲得という側面も学習と同様かそれ以上に重要。ご存知のように、人は生まれた時は母親と一緒に、自分が目覚めてから幼稚園や保育園に通園したり、小学校に行つたら、今まで



文教常任委員会に臨む林幹人県議

心にし」と話したが、それはどういう意味か。学習指導課長授業における個別学習と申しますのは、例えば向かい合つてのペアワークですか、複数名が机を寄せて行うグループワーク等については、しばらく控えていくという意味での個別の指導ということがあります。

林委員 3密を避け、感染拡大防止という観点から必要な措置だと

思う。ただ、それを進めることによつていわゆるグループの中での自分の立ち位置だとか、社会性を醸成する上での学校生活全般を通しての自分対他、多くの仲間や先生たちとの交流という、

勉強だけではない大きな意味での学習が果たして担保できるのかと思うが、その点についてどう考えているのか。

現状は、確実にコロナを抑制しなければならないと心配している。現状は、確実にコロナを空いてしまうのではないかと心配している。今まで体験したことなどが無い事態への対応なので、個別

学習を重視するのも仕方がない部分もあると理解は

するが、子供たちが社会に出るまでに必要な社会性

や総合的な人間力の獲得、

その辺の認識を強く持つてください。今後の対策を練つていただくよう要望す

仲間や先生との交流希薄に

従いまして、学校再開後につきましては、家庭で出来る学習、学校で対面による学習、子供たち同士の関わり、学校行事や体験活動、および部活動等のそれぞれの意義を十分に踏まえた上でバランスがとれた教育活動が行われるよう、各学校を指導してまいります。

『人間力の獲得』 認識して対策を

ホームページ 林もとひと

検索

twitter
@motohito884

Facebook 林幹人

児童生徒に長期休校の影響



議場演壇で投票を行う林県議

林委員 臨時休校が続いた後の児童生徒の心のケアという話が教育長からあつた。長期間にわたる臨時休校が続いて、心に不安を抱く児童生徒が増加することが懸念されるとか、あるいは長期休校明けの直後は精神的に不安定になる児童生徒が多くなるということから、さまざまな対策、スクールカウンセラーやSNSでの相談などを展開しているという話だった。

児童生徒だけではなく、
家で過ごす時間が増えれば
増えるほど、家庭での保護
者の役割が大きくなつてく
ると思う。

当然、今まで連携を取
つていたと思うが、これまで
以上に家庭での保護者との
コミュニケーションを図つて
いくことが学校側に強く求
められると考えるが、どの
ような対応をとつているのか
や市町村教育委員会が実施
児童生徒課長 県立学校

林委員 丁寧な対応を行なっていくと
いうことだが、現場は手洗いの徹底や3密を避ける指導など、コロナ対策への対応で本当に四苦八苦、てんてこ舞といった状態で負担が非常に大きくなっている。教職員にお任せといふ形で本当に保護者、家庭とのコミュニケーションがしっかりとられているのか非常に心配。

また、インターネットを通じたオンラインでの学習も進めていくことだが、そういったオンライン学習

は当然家庭でやるものなので、保護者が学習の進捗や学習態度、さまざまな課題を洗い出して、学校側にフィードバックする必要がある。児童生徒と直接のやり取りも大切でしようけど、保護者の方たちとの連携がより一層重要になってくると思う。

学校の役割が広くなっている。この「口ナ禍」をきっかけに、一つの契機にして、ぜひ保護者との連携を強め、総合的に児童生徒を見守つていけるような形をとつて、ただくよう要望する。

6月定例県議会

広がる学校の役割 児童生徒見守る体制を

我が子が不登校の状態になつた際、多くの保護者が不安や戸惑いを覚えますが、学校を中心にして、保護者

にとつても、プラスの影響があることが分かつており、引き続き、丁寧に対応してまいります。

した聞き取りでは、不登校の状態にあった児童生徒が、登校を始めているという報告も寄せられていますが、長期の休校中に生活リズムが乱れてしまつたり、新しい環境への大きな不安を抱えているなどの理由で登校が出来ない児童生徒がおり、適切な支援が必要だと認識

と担任やスクールカウンセラーとの面談の機会を設けたり、保護者に不登校に関するさまざまな情報を提供するなど、きめ細かに対応することが重要だと認識しています。

学校と家庭との連携重要

新型コロナウイルス感染症対策 過去最大補正予算を投入

感染のリスクを負いながら、新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者や職員に一人20万円などの慰労金を支給します。介護施設や障害者支援施設の職員にも支給します。

新型コロナウイルスの流行で生活に支障をきたした低所得のひとり親世帯に臨時特別給付金を支給します。

外出自粛でダメージを受けた県内観光業界の復興のために、県内の宿泊施設に宿泊した方に抽選で1人5千円分、総額10億円のキャッシュバックキャンペーん実施も盛り込まれました

6月補正予算においては、今後の感染拡大に備え、「拡大期1」を想定し、仮に毎日40人の感染者やクラスターが複数発生しても、患者を受け入れられる病床の数として500床を見込んでいます。

また、患者を受け入れる病院においては、人員体制の確保や院内感染防止対策のため負担が大きくなっていますことから、患者ひとり当たり50万円の協力金の支給や、確保していただきている病床に係る支援、医療資機材等の整備補助などを実行つてまいります。

さらに、国の補正予算も踏まえ、追加の支援も検討してまいります。

6月定例県議会で1867億4800万円の補正予算案が可決成立しました。国の第2次補正予算が6月12日に成立したことを受けて追加提案されたもので、補正予算では過去最大です。

感染第2波に備えて、医療の確保に力が入れられ、ICU内に感染症患者のうちの病床を確保してございました。

に、専門家のご意見もうかがいながら、改めて必要病床数等の見直しを行いました。具体的には、「安定期」、「拡大期1」、「拡大期2」、「オーバーシュート前」の4区分とする必要病床数を設定し、医療機関との確保に向けて調整しているところ

林もとひと 延議・プロフィール

病院に協力金支給

患者1人あたり50万円

自民党代表質問 新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制等の確保についてだが、今後の再度の感染拡大も想定し、医療提供体制を確保していくかが、患者を受け入れる病床の確保及び医療機関に対する支援について、どのように取り組んでいくのか。

知事 病床の確保については、現在の感染状況や第1波の経験を踏まえ、さ

林もとひと県議・プロフィール

○略 歷○

昭和48年	9月	銚子市に生まれる
平成4年	3月	銚子市立銚子高校卒業
平成8年	3月	玉川大学文学部卒業
	5月	米国ロードアイランド州語学留学
平成10年	4月	空港グランドサービス入社
平成12年	4月	衆院議員・山崎拓秘書
平成15年	4月	衆院議員・林幹雄秘書
平成19年	4月	千葉県議会議員初当選
平成23年	4月	千葉県議会議員再選
平成27年	4月	千葉県議会議員3選
平成31年	4月	千葉県議会議員4選

○現職○

●県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽にどうぞ **林 もとひと** 県事務局

〒286-0134
成田市東和田569 なるげや陶器ビル3階D号
TEL.0476-20-0884
FAX.020-4622-9781
E-mail : matchite884@gmail.com